

宮本 たかし

福井県議会議員

県政 **NEWS**

2022
春号

Vol.29

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 福井県越前市白崎町 73-1-3 3F

電話・ファックス **0778-22-6633**

拝啓

春らしい陽気になってきました。皆様、お過ごしでしょうか。

今、世の中は二年に渡り続いているコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵略という暴挙や、北朝鮮によるミサイル発射など、高まる緊張感で極めて不安な状況となっています。

このような時こそ一議員として何が出来るかをしっかりと考え、実行に移さねばと気持ちを新たにしております。現在県では二月議会での令和四年度当初予算等の審議を終え、新年度への進捗が進められています。引き続き、あつく、よじめに活動して参る所存ですので、今後共ご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

宮本 俊 敬具



令和4年度当初予算（令和3年度2月補正予算）について



平成4年度一般会計当初予算は5,112億円とコロナ禍の下、感染防止対策や経済対策で膨れた令和3年度当初予算と比べ△8.1%となりますが、それでも市場2番目に大きい予算総額となりました。

今議会ではコロナ対策を中心とした令和3年度2月補正予算、増額分728億円についても2回に渡り議決も行われ、これら補正予算は令和4年度当初予算との一体的な運用がなされます。これら補正予算のうち議会最終日3月16日に提案された追加補正予算24億円については、既に提案された経済対策予算18億円の内容が支援の効果として小さく、さらなる支援の上乗せを議会から知事に要請したことに応えての提案となりました。

<当初予算>

(単位：億円)

会計区分	令和4年度当初①	令和3年度当初①	増 減③ ①－②	伸び率 ③／②
一般会計	5,112	5,561	△449	△8.1%
特別会計	747	745	2	0.4%
企業会計	438	423	15	3.5%
合計	6,297	6,729	△432	△6.4%

毎回このコーナーでは成立した予算の主な事業について解説と共に記載しておりますが、今回、補正予算+当初予算ということでその件数は非常に多く、項目也多岐にわたっており、主な事業として抽出するだけでも相当量となってしまう為、右に主要予算と共に、今回特にコロナ禍によって影響を受ける事業所・県民への支援策をまとめたサイトを紹介したいと思いますので、是非ともご覧頂けたらと思います。

予算はコチラ 支援策はコチラ



2月議会トピックス～ロシアのウクライナ侵略を強く非難する決議

3月10日福井県議会では、今回のロシアのウクライナ侵略は断じて許されるべきものではなく、強く非難する意思を表明するため、「ロシアのウクライナ侵略を強く非難する決議」(案)が自民党福井県議会より本会議に提出され、全員の賛成によって可決されました。

「決議」とは政治的効果を狙い、あるいは議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決です。

以下にその内容(抜粋)を記載いたします。



ロシアのウクライナ侵略を強く非難する決議(抜粋)

今回のロシアによる侵略行為は明らかに国際法・国連憲章に反するもので、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙であり断じて認められない。

稼働中の原子力発電所への攻撃・占拠など人類はかつてない危機にさらされている。本県には15基の原子力発電所が立地しており、立地地域住民はこの武力攻撃に大きな不安を抱いている。

本県議会は今回のロシアによる侵略を強く非難し、即時攻撃停止、部隊の撤収、原状回復を強く求めるとともに、国際社会による協調した経済制裁や人道支援を強く求める。

国においては必要な対策を躊躇なく講じ、武力攻撃に対する発電所の防御や原子力安全対策、地域住民の安全確保を十分検討し具体的対応策を示すことを強く求める。

以上 決議する



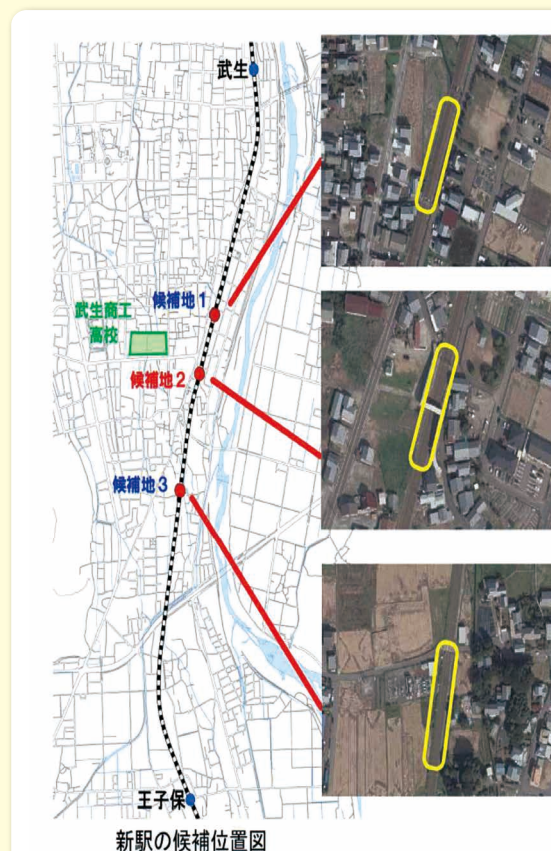
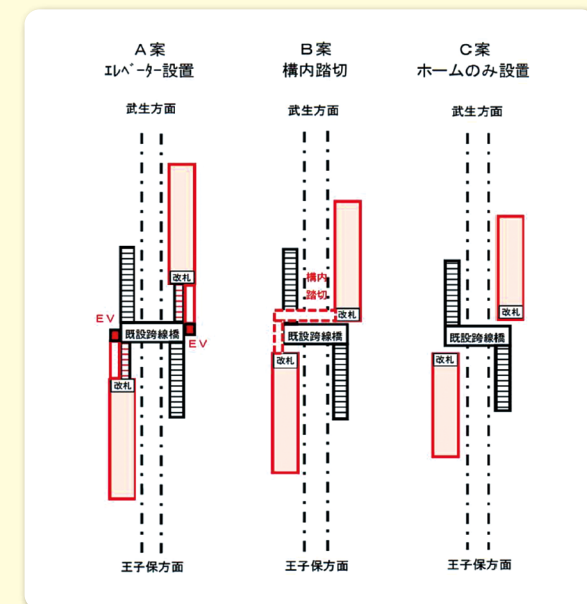
県政メモ22:並行在来線について

前号の「県政ニュース」にて並行在来線について特集し、並行在来線の経営の安定のためには新駅の設置にて乗客を増やすことが重要というお話をしました。今議会では「新駅設置支援事業」ということで、並行在来線会社が実施する新駅の測量・基本設計などを支援する目的で700万円の予算が計上されています。

現在概要が見えてきた新駅の場所、仕様について計画主体となった越前市において、決定までにどのような議論がなされたかについてご紹介したいと思います。ちなみに県内での新駅の設置については他に福井市、鯖江市の2市で検討がなされました。福井市については候補地の選定がまだ終了しておらず、また、鯖江市については新駅の設置に優先して現在の鯖江駅東口の再開発を行うということでこの予算の対象にはなっていません。新駅設置については越前市が先行する形になっています。

どこに？

右図のように武生-王子保間において3か所が比較検討されました。その結果、武生-王子保間のほぼ中間に位置し、新たな駅勢圏(半径2km)の人口が最も多く、定期利用の増加が見込める武生商工高校との距離が一番近いとの理由で現在、人道橋が設置されている「候補地2」が選定されました。



どのように？

駅の仕様をどのようにするかについては上の左図の3案について右表の様に比較検討がなされました。

費用対効果とは掛けた費用に対してどれだけの収益が上がるかの比率を表したものであり、最低でも1以上なければ投資を行う意味はないといわれています。現状の人道橋に付随してエレベーターを設置するA案は事業費が高く、費用対効果は1.0以上を見込めませんでした。B案(構内に踏切を設置)C案(ホームのみの設置)は共に費用対効果は高い数値となりましたが、安全性を考慮しB案にて決定いたしました。

	A 案	B 案	C 案
駅舎事業費	6.50 億円	5.00 億円	4.62 億円
費用対効果	0.91	1.3	1.44



宮本たかしダイアリー



11/27 婦人体育祭



1/18 北陸3県正副議長会議



1/23 あわら市長選祝辞



1/11 警察行政についてヒアリング



1/31 東海北陸7県正副議長会議(ウェブ)



3/13 伝統工芸アイドル「さくらいと」と



3/6 中央公園プールオープニング



3/21 土地改良事業団体連合会総会